

久留米大学では、他施設と共同で実施する下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を共同研究機関より提供を受けています。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】運動療法が肝がん患者に及ぼす影響の後ろ向き検討

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者（情報の管理責任者）】

研究代表機関（研究代表者）：久留米大学病院 リハビリテーション部 理学療法士 神谷 俊次

診療情報等の提供元：筑後市立病院、福岡県済生会病院、佐賀中部病院、公立八女総合病院、熊本労災病院

【研究分担施設・研究責任者】

・別紙参照

【診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦 2013 年 2 月 1 日から西暦 2023 年 7 月 5 日の間に受診
- 2) 受診科：消化器内科、整形外科（リハビリテーション部）および共同研究機関の各診療科
- 3) 対象疾患名：肝がんと診断された方

【診療情報等の項目】

診療情報等：【年齢、性別、身長、体重、血液検査データ、腹部 CT、筋力評価、バランス検査、筋肉量、治療歴、有害事象等】

授受の方法：郵送・宅配 電子的配信 直接手渡し その他（ ）

【研究目的】

上記の診療情報を使用し、運動療法の安全性・有効性、骨格筋量維持効果の解明を目的とした共同研究実施のため。

【研究（利用）期間】久留米大学倫理委員会承認後から西暦 2024 年 7 月 5 日まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】

研究責任者：久留米大学病院 リハビリテーション部 理学療法士 神谷 俊次

問い合わせ担当者：久留米大学病院 リハビリテーション部 理学療法士 神谷 俊次

電話：0942-31-7645（内線 5480） E-mail: kouya_shunji@kurume-u.ac.jp

【研究分担施設・研究責任者】(続き)

久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門	准教授 川口 巧
久留米大学病院 リハビリテーション部	准教授 松瀬 博夫
久留米大学病院 リハビリテーション部	助教 橋田 竜騎
久留米大学病院 リハビリテーション部	助教 岩永 壮平
久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門	助教 下瀬 茂男
久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門	助教 中野 暖
久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門	助教 堤 翼
久留米大学病院 リハビリテーション部	作業療法士 斎藤 弘道
久留米大学病院 リハビリテーション部	主任技師 広田 桂介
久留米大学病院 看護部	看護師 山田 真衣子
久留米大学病院 看護部	看護師 杉本 昌子
久留米大学表院 看護部	看護師 林 咲希
久留米大学病院 看護部	主任看護師 松下 淑子
久留米大学表院 看護部	看護師長 岡田 晃代
久留米大学病院 栄養治療部	管理栄養士 永松 あゆ
久留米大学病院 栄養部	管理栄養士 高柳 理沙
久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門	教授 鳥村 拓司
久留米大学医学部 整形外科学講座	教授 志波 直人
筑後市立病院 リハビリテーション室	理学療法士 平田 美樹
筑後市立病院 リハビリテーション室	作業療法士 古賀 暢
筑後市立病院 リハビリテーション室	理学療法士 田中 大輔
筑後市立病院	消化器内科科長 白地 美紀
筑後市立病院	副院長 梶原 雅彦
福井県済生会病院	副院長 野ツ俣 和夫
福井県済生会病院	内科 真田 拓
福井県済生会病院 リハビリテーションセンター	理学療法士 土橋 仁
佐賀中部病院 リハビリテーション科	理学療法士 富田 学
公立八女総合病院 理学療法科	理学療法士 楢尾 隼人
公立八女総合病院 理学療法科	理学療法士 真子 裕太
熊本労災病院 中央リハビリテーション部	部長 田中 政敏
熊本労災病院 第二消化器内科	部長 瀬戸山 博子